

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



2 飢餓を
ゼロに



3 世界中の人に
健康な食料を



15 世界の食料を
増やす



気候変動に左右されない野菜生産

地球の人口は増加の一途を辿り、食料生産に必要な耕地面積を拡大させることが困難な状況になっています。また、過剰な肥料の使用や無肥料での連作は、どちらも耕地に多大な負荷を強いています。更に近年の温暖化は作物の収量低下を引き起こす要因の一つになっています。

本研究室では気象条件を人工的に制御した状態で、最も低エネルギーで最大収量を可能とする植物工場による野菜生産技術の確立に取り組んでいます



環境制御下での
メロン栽培



人工光による
サラダナ栽培

天候に左右されない栽培方法を開発することで、「新しい技術革新の基盤を作る」目標に貢献します。また、安定的な野菜の供給を行うことで、経済及び農業収入の安定化に貢献します。

【担当】

名前：西澤 隆

専門分野：野菜園芸学

連絡先：

nisizawa@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp